

①個別データシート

種類 加工

英名 fabric processing

整理番号: JP207009

分類 繊維工業品

和名 綿・ポリエステル系の製織加工プロセス

・GHG排出量 2.09E+00 kg-CO₂e/kg

・情報源分類 その他調査データ

・技術記述子 綿・ポリエステル系の製織加工

・技術の内容と機能 綿・ポリエステル系を原料とした綿・ポリエステル織物の製織加工
前提:織り方はツイルを前提とし、ポリエステル(65%)／綿(35%)の混紡系の準備、製織(エアージェット)、仕上げ工程を対象としている。 目付は215g／m²である。
代表する紡績会社3社の平均値
* 入力の水量の5%が飛散するとして、排水処理は入力水量の95%としている。

繊維製品(衣料品)のLCA調査報告書 経済産業省製造産業局 繊維課(有限会社産業情報研究センター),(2003),
資料編 p22 資料14 ③綿・ポリエステル(s)系の製織

・データ作成者コメント

経済産業省製造産業局 繊維課(有限会社産業情報研究センター):“繊維製品(衣料品)のLCA調査報告書 資料編”,12,(2003),
p22, ③綿・ポリエステル(s)系の製織 に掲載されている入出力データを引用して、原材料の入力量および出力量を確認し、原材料の入力を除外して製織加工プロセスの原単位を作成した。

・適用範囲

綿・ポリエステル系を原料とした綿・ポリエステル織物の製織加工工程を対象としており、織り方はツイルを前提とし、ポリエステル(65%)／綿(35%)の混紡系の準備、製織(エアージェット)、仕上げ工程である。 代表する紡績会社3社の平均値である。

・システム境界

製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含む。産廃処理を含まない。加工プロセスのため、加工される原材料ならびに加工された製品は含まない。

・配分

共製品なく配分なし

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、電力,系統電力(公共電力)由来のCO₂(化石資源由来)、熱エネルギー,A重油(A重油)由来のCO₂(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開 整理 番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	蒸気用水	井戸水		1.17E-03	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	水	井戸水		1.58E-02	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	公共電力	電力,公共	JP120001	2.72E+00	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	A重油	燃焼・A重油	JP111016	1.79E-01	L	
資源/原材料	中間フロー	入力	耳からみ糸	ポリエステル長繊維糸	JP310319	3.00E-03	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	糊	セルロース系接着剤、 プラスチック系接着剤		5.70E-02	kg	
廃棄物処理	中間フロー	入力	工業排水処理	工業排水処理		1.50E-02	m3	
製品	中間フロー	出力	綿・ポリエステル系の 製織加工プロセス	綿・ポリエステル系の 製織加工プロセス	JP207009	1.00E+00	kg	